

避難訓練・防災教育講演会

1 目的：

- (1)災害から生徒の生命や安全を守るため、生徒・教職員が冷静・的確な判断に基づき、適切な対応ができるようにする。
- (2)有事の際に迅速・適正な行動がとれる能力の育成と、防災意識の高揚を図る。

2 日時：令和7年4月30日（水）

【以下の想定で実施しました】

令和7年4月30日（水）14時25分頃、震度7の地震が発生。その後、A棟1階化学実験室より火災が発生。余震の恐れもあるが、延焼の恐れがあるため、生徒は担任等の誘導により、避難経路に従って体育館まで避難する。

【防災教育講演会】

講師：中島光雄氏（長岡京市市民協働部防災・安全推進室防災指導員）

実際に阪神・淡路大震災の際に活動をされた中島光雄氏に、御自身の体験と年始に起こった能登半島の事例を踏まえて近い将来発生すると予想される「南海トラフ地震に対する備え」について講演していただきました。

家具の転倒・落下による被害を減らすための対策、通電火災にも注意しましょう！通電火災とは停電から復旧して再通電した際に出火する現象です。避難する際には電源プラグを外すことはもちろんですが、ブレーカーを落としておきましょう。（自宅のブレーカーがある場所を確認しておきましょう。）

また、食料の備蓄、マンホールトイレ（乙訓高校でも設置できるようになっています。）についてなど事前の備えが大切です。

「避難所には小さい子供からお年寄りまで様々な方がおられます。高校生の皆さんはできる範囲でお手伝いをしましょう！」



